

## 1 日目 遠野の街中、QMCH の施設および周辺フィールドの見学+ナイトセミナー

---

遠野駅前集合し遠野の街中を歩きながら、震災のためスーパー内に仮設された市役所や遠野町屋の呉服屋・三田屋を見学しました。現在廃墟となっている三田屋は、遠野プロジェクトの拠点施設の一つとして再生活用構想中の場所とのことでした。

QMCH に到着後、ドマリウムで地元のお菓子“キリセンショ”でティータイム。

その後、馬の堆肥を使った田畑や雑木林を見学しました。林間に放牧されている 2 頭の馬の姿が現れると、「わぁ〜かわいい！」「きれいね〜」の声。食欲旺盛な馬たちに草を摘んであげると、「もっとちょうだい」とおねだりする様子も。

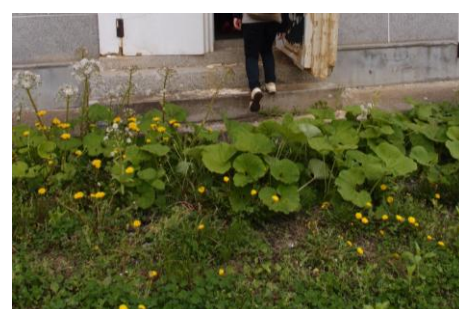
そして QMCH より少し山を入ったところにある荒川駒形神社へ。

荒川駒形神社は、馬の健康や安全を祈願するために建立され、昔は遠野の以外の地域からも人馬が参詣した神社で、QMCH の馬たちもここでご祈祷していただきました。

夕食後は、田瀬さんのナイトセミナー。

懐中電灯の明かりを頼りにアオゲラホールに移動し、これまでのアンビルドプロジェクトや QMCH の生い立ちについて紹介されました。

セミナー後も話しはつきず田瀬さんを囲む会あり、いろ暖炉の前で 1 人静かに時間を過ごす姿あり、思い思いの時間を過ごしました。









## 2日目 馬と一緒にピクニック、林間雨よけテント張り+ナイトセミナー

---

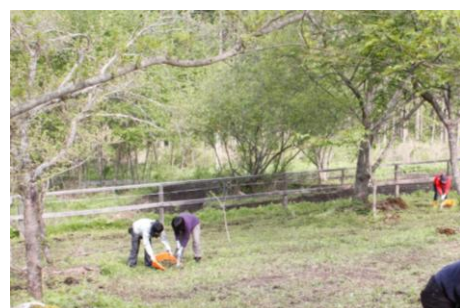
早朝、アオゲラやホトギスなどの鳥のさえずりが響く耳駒形神社放牧区にて田瀬さん指導のもと、馬のボロ集めやノイバラの剪定など馬のお世話をしました。ノイバラの見分け方や剪定の仕方など説明を受けた後、作業開始。剪定した枝は、樹の足元をぐるっと囲むように円く重ねてバイオネストにしました。外側に枝を内側に葉や草を入れた堆肥置き場として、また生き物の棲み家となります。希望者のみのはずが全員参加で、1人なら1週間ほどかかるという作業があっという間に終了！

朝食後は、今回のセミナーの参加動機や実際に来てみての感想などを交えた自己紹介を行い、馬と一緒にピクニックに行きました。雑木林の中をしばらく行くとパッと視界が開け、風がかけ抜ける広い草場が。草地を見下ろしながらおにぎりを食べ、しばし休憩。

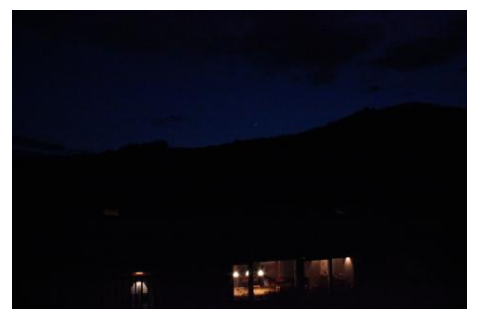
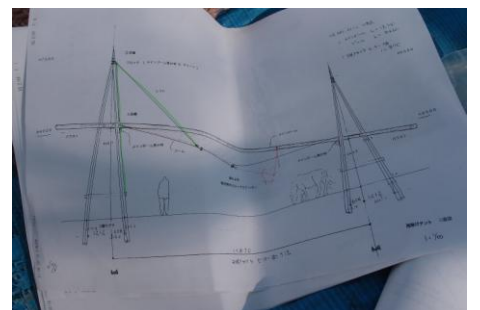
午後は、馬たちのための林間雨よけテント張りの作業をしました。ヨットの帆を特注したテントは、田瀬さんが模型を作り設計されたもので、船をイメージに震災復興に向けたメッセージがこめられているとのことでした。

ナイトセミナーでは、現在QMCHのプロジェクトに関わっている建築家の安宅さんをお迎えし、QMCHの進行中のプラン、今後の構想などについて紹介されました。

セミナー後、恒例の田瀬さんを囲む会の他、参加者同士話しをしたり、星を見に行ったりと最後の夜の時間を過ごしました。









### 3日目 遠野ふるさと村、高清水展望台へ

---

2日目と同様に駒形神社放牧区で馬のお世話の後、朝食。

午前中はサツマイモ苗の植え付け作業を行いました。真夏を思わせる日差しの強さの中、一苗一苗丁寧に受けました。植え付けた苗を見て、「収穫する頃、また来たいな」と最終日の今日を名残惜しむ声も聞かれました。

曲がりやのある遠野ふるさと村で郷土料理のひつまみで昼食、施設内を見学した後、高清水展望台へ。

ちょうど田んぼに水が張られたこの時季、太陽の光を受けて鏡面のように見えるそうで、田瀬さんが是非みなさんに見せてあげたいと遠野が一望できる展望台に行くことになりました。

あいにく田んぼの鏡面は見る事が叶いませんでしたが、みなさんそれぞれ遠野で過ごし感じた想いを重ねあわせて眺めているように思われました。

遠野駅にて解散、今回の遠野セミナーは終了となりました。





